

プログラム

8:50～ ポスター掲示（531 教室前廊下）

9:15～ 9:20 開会のあいさつ
大会長：長谷川智子（大正大学人間学部） 531 教室

一般演題（口頭） 発表7分，質疑応答4分

9:20～ 9:55 【一般演題】 第1部 産婦・乳児の関係性と支援
座長：岡光基子（東京科学大学大学院保健衛生学研究科）

O1-1. 低出生体重児の母親におけるボンディング形成プロセス

宇佐見翔子（東北大学教育学研究科）

O1-2. 胆振東部震災後の乳幼児のこころのケア

—震災直後から中長期にかけて—

才野 均（北海道立子ども総合医療・療育センター小児精神科）

O1-3. 乳児院における「つなぐ養育」の探求

—0歳代で里親委託された事例のケーススタディー—

○江東拓真¹，二ツ山 亮²（1 丘の家乳幼児ホーム，2 小松島子どもの家）

10:00～10:45 【一般演題】 第2部 授乳・食，認知発達
座長：岸本 健（聖心女子大学文学部）

O2-1. 母乳と人工乳の選択における理想と実際の日仏比較

○根ヶ山光一¹，外山紀子¹，則松宏子²（1 早稲田大学，2 Toulouse大学）

O2-2. 離乳期の「飲む」行為における食器把持と傾き制御の発達的变化

青木洋子（東京成徳大学子ども学部）

O2-3. 食事という活動の成立に向けた保育者の身体技法

—日本と中国の比較—

韓雪（早稲田大学人間科学研究科）

O2-4. 被教示者の属性に応じた幼児の教示方略

○王淳¹，外山紀子²

（1 早稲田大学大学院人間科学研究科，2 早稲田大学人間科学学術院）

10:50~11:35 【一般演題】 第3部 心身の問題とその支援
座長：座長 青木 豊（あおきメンタルクリニック）

O3-1. 社会性の発達に遅れのある保育園児に対する保育士介在型JASPERの実践
○井澗知美¹, 井口妙子² (1 大正大学, 2 倉吉市子ども家庭課)

O3-2. A県における面前DVと養育者の虐待リスク要因の検討
—小児期逆境体験に着目して—
齊藤友子（大分大学教育学部生活・技術教育講座）

O3-3. 緘黙症状の改善にPCIT-SM (Parent-Child Interaction for Selective Mutism) が有効であった4歳女児の症例
○木原望美^{1,3}, 細金奈奈^{2,3} (1 総合母子保健センター愛育クリニック医療福祉室, 2 総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科, 3 愛育研究所児童福祉精神保健研究部)

O3-4. 青年期までに筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) を発症した人が医療との関わりで経験する困難と病いの意味づけプロセス
○中島伸子¹, 向井友梨², 外山紀子³ (1 新潟大学教育実践学研究科, 2 早稲田大学人間科学部, 3 早稲田大学人間科学学術院)

11:40~12:10 【ポスターセッション】
発表者と質問者の質疑応答 (531 教室前廊下)

P-1. 父親による乳児に対する情動認知と参加者プロフィールの関係
○鐘水秀和¹, 長屋佐和子² (1 人間環境大学, 2 常葉大学)

P-2. JASPERプログラムが自閉スペクトラム症幼児の対人コミュニケーションに及ぼす効果—動画をを用いた関わり合いの分析を通して—
○上田育実¹, 井澗知美²
(1 大正大学人間学研究科臨床心理学専攻修士課程, 2 大正大学)

P-3. 日本の集団保育施設における乳幼児の食育に関するスコーピングレビュー
杉本達哉（東京大学医学部健康総合科学科看護科学専修）

P-4. 産後うつ予防に効果的な支援に関する文献検討
—「母乳育児」「愛着形成」「抑うつ状態」に焦点を当てて—
○田中 麟, 松葉瀬綾華, 竹原晴美, 疋田幸喜, 福岡美和
(鹿児島純心大学看護栄養学部看護学科)

P-5. 疾患を持つ子どもの親の思いの概念分析—Rodgersの概念分析を用いて—
○海陸由良, 濱道さくら, 岩元佳奈, 竹原晴美, 疋田幸喜, 福岡美和
(鹿児島純心大学看護栄養学部看護学科)

12:10~12:40 昼休憩
理事会・評議員会
(時間：12:20~13:20 場所：532 教室)

12:40~13:30 【ランチ・タイムセミナー】
司会：井澗知美（大正大学臨床心理学部）

愛着障害が多すぎる

内山登紀夫（福島学院大学社会福祉学部）

13:35~13:55 総会 優秀発表賞の発表と賞の授与 531 教室

14:00~14:50 【会長講演】
司会：外山紀子（早稲田大学人間科学学術院）

子どもの食発達からみえるもの

長谷川智子（大正大学人間学部）

14:50~15:00 休憩

15:00~17:00 【シンポジウム】
座長：長谷川智子（大正大学人間学部）

乳幼児期の睡眠の発達と環境 —看護・心理・医学の視点から—

シンポジスト：

松枝加奈子（大阪医科薬科大学看護学部看護学科）
「母親と乳児の睡眠覚醒リズムを整える支援プログラム」

福田一彦（江戸川大学社会学部・睡眠研究所）
「乳幼児の睡眠・覚醒リズムの発達とその問題について」

岡 靖哲（愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター）
「デジタルネイティブ世代の乳幼児の睡眠教育」

指定討論：根ヶ山光一（早稲田大学）

17:00~17:05 閉会のあいさつ
大会長：長谷川智子（大正大学人間学部）
